行政評価(継続事業)

第4編第2章 総合交通ネットワークを構築する

	第4	福第2草	総合父理	ネットワークを構築する																								
							概算コスト((単位:千円)				主な活動指標	E C				主な成果指標			達成原	妥当	性	効率性	有	効性 2	·平性		
N	事業区分	事務事業名		事業概要	財源	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標の達成状況	の必要性	市の関与事業手法	業の統合	滅丨へ	効果	有負担の	一次評価結果	評価理由
	社会			○事業開始年度 昭和52年度		[概算コスト] 977	[概算コスト] 546	I	[概算コスト] 543	負担金の支 出回数	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	鉄道交通網 の整備促進	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]									現状のまま継続
1	市	・ 鉄道網の整備 が 促進 交		【概 要】鹿児島県鉄道整備促進協議会、指宿枕崎線輸送強化促進期成会の一員として負担金を支出し、JR等関係機関に対して、 鉄道変通網の整備促進に関する要望を行う。 【対象者】鹿児島県鉄道整備促進協議会、指宿枕崎線輸送強化促 選期放会 【 現体的な活動内容】	市単	(内訳) ·決算額 128		(内訳) ·決算額 110 ·人件費	(内訳) ·予算額) 114 ·人件費	(単位:回)	[実績値] 2 〈達成率〉	[実績値] 2 〈達成率〉	[実績値] 2 〈達成率〉			[実績値]	[実績値]	[実績値]		0 0		0 0	0 0	0 0	0	- 1	A A	(理由) 鉄道交通網は、地域間交流の重要 な交通基盤として不可欠であり、整備 促進を図るため必要な事業である。
	施設基盤			JR九州鹿児島支社、九州本社等に対して、鉄道交通網の整備促進に関する要望活動を行う。				435	429		100.0%						(建成年)	(建成平/										
	社会			○事業開始年度 昭和55年度	[/	[概算コスト] 6,542	1	[概算コスト] 7,842	[概算コスト] 7,825	会·幹事会	[目標値]	[目標値] 18	[目標値]		高規格幹線 道路整備率	[目標値] 68	[目標値]	[目標値] 68	[目標値] 68									現状のまま継続
		高規格幹線 道路等の整備		【概要】高規格幹線道路等の整備促進を図るため、関係市町等で 組織する期成会等での活動を通じて、国等への要望活動を行う。 【対象者】期成会 【具体的な活動内容】南九州西回り自動車道建設促進期成会ほか	市	(内訳) ·決算額	(内訳) ·決算額	(内訳) •決算額	(内訳)・予算額	参加回数	[実績値]	[実績値] 18	[実績値] 16		(単位:%)	[実績値] 53	[実績値] 55	[実績値] 55									A A	(理由) 交流人口を増大させる交通ネット ワークを構築するため、高規格幹線 道路等の整備促進の要望活動を継
	市施設	促進		【具体的な活動内容】南九州西回り目動車追建設促進期成会はか 9つの期成会等において、国等への要望活動を行い、鹿児島市と沿 線市町・隣県を結ぶ高規格幹線道路等の整備促進を図る。 ※これまでの主な成果 ○南九州西回り自動車道 供用中:鹿児島IC~薩摩川内都IC間		811 ・人件費 5,731	739 •人件費 7,132	·人件費 7,132	·人件費 2 7,132		〈達成率〉	〈達成率〉	〈達成率〉			〈達成率〉 77.9%	〈達成率〉	〈達成率〉 80.9%										続して実施する必要がある。
	基盤			○東九州自動車道 供用中:鹿児島IC~末吉財部間		(1.35人)	(1.68人)	(1.68人)	(1.68人)						口坛什 八十六海鄉													
	社会基			○事業開始年度 平成13年度 【概 要】平成19年度にJR九州と締結した工事に関する基本協定に基づき、JR九州がホームなどの駅施設の整備工事を行うとともに、 鹿児島市が駅前広場の整備工事を行う。 【対象者】R広木駅 仮称)付近の住民 【具体的な活動内容】平成20年度の概要		[概算コスト] 7,208		1		当該年度ま での累積事 業費/全体 事業費	[目標値] 348,691	[目標値] 348,691	[目標値] 348,691	[目標値] 348,691	公共交通機 関の機能強 化	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]									(理由)
:	都	JR広木駅(仮 称)設置促進 事業	企画部		市単	単 2,963 13,101 14,8	I	(内訳) ·予算額 310,968	(単位:千	[実績値] 9,733	[実績値] 22,835	[実績値] 37,723	37,723		[実績値]	[実績値]	[実績値]		0 0		0 0	0	0 0		0 1	FF	JR広木駅(仮称)が21年3月に開業する見込みであることから、それに伴い事業を終了する。	
	施設基盤	7.7.		・駅施設の整備工事(JR九州)(ホームなどの整備) ・駅前広場の整備工事(市) ・新駅開業(予定)		·人件費 4,245 (1.00人)	·人件費 4,245 (1.00人)	1	人) (0.90人)		〈達成率〉	〈達成率〉 6.5%	〈達成率〉 10.8%			〈達成率〉	〈達成率〉	〈達成率〉										
	社会			〇事業開始年度 平成14年度	生	[概算コスト]		[概算コスト]	1	(単位:件)	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	維持された 路線数	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	7								現状のまま継続
	基盤・	バス運行対策	企画部	【概 要】輸送人員の減少により、路線維持が困難となっている生活交通路線(※)を運行するバス事業者に対して、補助金を交付する。		(内訳) ·決算額	(内訳)	(内訳)	(内訳) ·予算額		[実績値]	[実績値]	[実績値]		(単位:系 統)	[実績値]	[実績値]	[実績値]										(理由) 地域住民の福祉を確保するため に、生活交通路線としての広域・幹線
	都市施設基础	費補助事業		【対象者】バス事業者 【具体的な活動内容】生活交通路線について、国、県と協調し、経 常費用と経常収益の差額を補助する。(負担割合 国・県・経常経費 の4.5/20以下、市・経常経費の11/20と経常収益の差額) ※ 複数市町村にまたがり、キロ程が10km以上、1日の輸送量が1 5人~150人、1日の連行回数が3回以上、広域行政圏の中心都	単	1,440 ·人件費 425 (0.10人)	•人件費	·人件費 435	·人件費 429		〈達成率〉	〈達成率〉 100.0%	〈達成率〉			〈達成率〉 100.0%	〈達成率〉	〈達成率〉 100.0%		0 () @	0 0	0 0	0 0		(O)	A	的なバス路線について補助すること は必要である。
	盤社			市等にアクセスする広域的・幹線的な路線 〇事業開始年度 平成16年度		[概算コスト]	[概算コスト]	[概算コスト] [概算コスト]	補助金交付	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	運行系統数	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]			+		+	+	+	-	事業手段の見直し(手段の改善等)
	会基盤			【概要】吉田・松元・郡山地域において、住民の交通手段の確保を図り、もって住民の福祉の向上に資するため、コミュニティバスを運行する。		22,638	24,722	23,899	(内訳)	58 件数 (単位:件)	(実績値) 3 (達成率)	3 [実績値]	(実績値)	3	(単位:系 統)	14	[実績値]	1	15	15								(理由) 補助金額について増加傾向にある
ţ	都市施	コミュニティバ ス運行事業	正岡即	[対象者]吉田・松元・郡山地域の住民 【具体的な活動内容】 □ミュニティバスの運行を依頼した事業者に対して、運行経費と運	単	・決算額 20,940 ・人件費	・決算額 23,024 ・人件費	·決算額 22,594 ·人件費	・予算額 27,840 ・人件費			3 〈達成率〉	3 〈達成率〉			14 〈達成率〉	14 〈達成率〉	15 〈達成率〉		0	0	0 0	0	0 0	0	0	Ba Ba	ことから、運行ルートの見直しなどの 利用促進策や運賃の見直しを検討す るべきである。
	施設 基盤			行収入の差額を補助する。		1,698 (0.40人)	1	1,305	1,718		100.0%					100.0%	1											
	社会			○事業開始年度 平成18年度		[概算コスト] 0	[概算コスト] 9,737	1] [概算コスト] i 33,009	対応策の導 入エリア数	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値] 4	公共交通不 便地の解消 エリア数	[目標値]	[目標値]	[目標値] 14	[目標値] 14									現状のまま継続
	基盤・都	公共交通不便	企画部	【概 要】公共交通機関が利用できず、著しく不便と思われる本市 の公共交通不便地において、必要に応じて有効な対応策を導入 し、公共交通不便地の解消を図ろうとするもの。 【対象者】公共交通不便地の住民	国補	(内訳) ·決算額	(内訳) ・決算額	(内訳) ·決算額	(内訳) ·予算額	(単位:エリ ア)	[実績値]	[実績値]	[実績値]		エリア	[実績値]	[実績値]	[実績値]										(理由) 公共交通不便地における高齢者な どの交通手段の確保のため必要な事 業である。
	都市施設基盤	地対策事業		【対象者】公共交通不便地の住民 【具体的な活動内容】 ・19年度 公共交通不便地14エリアのうち、特に優先的に取り組む必要がある3エリアについて具体的な基本計画・事業計画を検討。 結果4エリアの計画を策定。 ・20年度 19年度策定の事業計画に基づき、コミュニティバスの運 行開始	助	期 0	8,463 • 人件費 1,274 (0.30人)	·人件費 3,915	·人件費 3,865		〈達成率〉	〈達成率〉	〈達成率〉			〈達成率〉	〈達成率〉	〈達成率〉										木 (の)も。
	社会			○事業開始年度 平成18年度		[概算コスト] ∩	[概算コスト]	I] [概算コスト] 29,661	補助金交付 件数	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	運行路線数	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]			1		+	$\dagger \dagger$			現状のまま継続
	基盤・数	廃止バス路線 対策事業	企画部 交通政策課		市単	(内訳) ·決算額 ·人件費	(内訳) ・決算額 1,828	(内訳) •決算額	(内訳) · 予算額	(単位:件)	[実績値]	[実績値] 4 〈達成率〉	[実績値] 4 〈達成率〉	,	(単位:系統)	[実績値]	[実績値] 18 〈達成率〉	[実績値] 10 〈達成率〉	70	0		0 0		0 0	0	0 4	A A	(理由) 地域住民の日常生活や公共的施設 を利用するうえでの公共交通手段を 確保するため必要な事業である。
	設基盤	設 基		[具体的な活動内容] ・本市単独廃止路線代替バスの運行(「犬迫方面」「皆与志方面」 「谷山地区」) ・廃止路線代替バスの運行(加世田方面)		0	2,972 (0.70人)	1,305	1,288			100.0%					100.0%											

行政評価(継続事業)

第4編第2章 総合交通ネットワークを構築する

	第4	編第2草	総合父連	ネットワークを構築する																								
							概算コスト(単位:千円)			3	主な活動指標	Ē,				主な成果指標	!		達成原	妥当	性	効率性	有	効性 🗠	平性		
No	分	事務事業名		事業概要	財源	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標の達成状況	業の必要性	関し手	業の統合	ト縮上へ	数 果 排 。	受益者負担の見直し 一次評価 結果	評価結果	評価理由
	社			〇事業開始年度 平成13年度					[概算コスト]	美施特定争 業数	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	整備済特定事業数(累	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]									現状のまま継続
8	都リ	を通バリアフ リー基本構想 進進事業	企画部	【概要】高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の利便性及び安全性の向上の促進を図ることを目的として策定された鹿児島市交通バリアフリー基本構想(※)に基づき道路管理者、公共交通事業者、県公安委員会等が実施する特定事業を一体的かつ計画的に推進する。	市単	(内訳) ・決算額 18	(内訳) ・決算額 23	(内訳) ・決算額 18	(内訳) •予算額 55	(単位:事 業)	8 [実績値] 12 〈達成率〉	7 [実績値] 8 〈達成率〉	7 [実績値] 7 〈達成率〉	2	計) (単位:事業)	60 [実績値] 34 〈達成率〉	[実績値] 42 〈達成率〉	[実績値] 49 〈達成率〉	60	 © C	0 0	© C	0	O	0 -	- A		(理由) 鹿児島市交通パリアフリー基本構想に基づき計画的に事業を推進していくため必要な事業である。
	施設基盤			【対象者】市民(高齢者、障害者等) 【具体的な活動内容】上記目的の達成のため鹿児島市交通バリアフリー基本構想推進協議会を設置し、事業主体、関係機関・団体等との継続的な協議、意見交換等を行う。 ※ 平成14年策定、目標年:平成22年		・人件費 849 (0.20人)	1,698 (0.40人)		(0.10人)	四大井北仁	150.0%	114.3%	100.0%		**************************************	56.7%	70.0%	81.7%										
				〇事業開始年度 平成19年度		【概算コスト」	[機算コスト]	し概算コスト 9,037	[概算コスト] 2,251	調宜買執行 額	[目標値]	[目標値]	[目標値] 6,752	[目標値]	道路交通の 円滑化	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]									<u>終了</u>
9	· 5	主車場案内 ノステム等 間査検討事業	建設局 都市再開発	【概要】本市の駐車需給等の実態を踏まえ、関係機関や関係課と 協議を行いながら、システム更新が近づいている現行の駐車場案 内システムと鹿児島市における建築物に附置する駐車施設に関す る場の今後の対応について検討を行い、必要な対応を組み立て る。	操案 目 関す 国	(内訳) ·決算額	(内訳) ・決算額	(内訳) ·決算額 6,862	(内訳) •予算額	(単位:千 円)	[実績値]	[実績値]	[実績値] 6,752			[実績値]	[実績値]	[実績値]		0 C		0 @	0 0	_ _	0 -	- A		(理由) 今年度中に今後の対応方針を定 め、当調査検討事業は終了すべきで ある。
	究		課	【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・駐車場案内システム等調査業務委託の実施(H19年度) ・鹿児島市駐車場案内システム等連絡調整会議の設置(H19年度 ~)	-22	·人件費 0	·人件費 0	2,175	1		〈達成率〉	〈達成率〉	〈達成率〉 100.0%			〈達成率〉	〈達成率〉	〈達成率〉										
	社			○事業開始年度 平成8年度	$ \cdot $	[概算コスト] [概算コス	[概算コスト]	[概算コスト] [[概算コスト]		[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	中央地区に	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]									終了
	会基盤・	自転車等駐車		【概 要】天文館を中心とする中央地区において、公共の場所における自転車等の放置等の防止に努め、交通の円滑化及び良好な生活環境の確保を図るため、自転車等駐車場を整備し、その周辺	围	(内訳) ・決算額 ・決算額 ・人件費 4,245	(内訳)	373,509 (内訳) •決算額	22,527 (内訳) •予算額	おける自転 車等駐車場 の整備台数 (単位:台)	1,800 [実績値] 1,169	1,800 [実績値] 1,169	1,684 [実績値] 1,684	1,684	おける放置 自転車等の 台数 (単位:台)	1,050 [実績値] 948	[実績値] 833	732 [実績値] 764	701									(理由) 自転車等駐車場の設置と放置禁止 区域の指定について当初計画の整備
10	都市施設			を放置禁止区域に指定する。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・自転車等駐車場の整備(19年度まで) ・自転車等放置禁止区域の指定及び指導業務	補助		12,146 •人件費 4,245	369,159 ·人件費 4,350	20,380 ·人件費 2,147	(42.2)	〈達成率〉	〈達成率〉	〈達成率〉		(4.1)	〈達成率〉 110.8%	〈達成率〉	〈達成率〉		0 0		0 0		0 0	0 0	Э Вь		を終えたことから、新設の中町自転車 等駐車場の管理運営費等について は、自転車等の放置防止対策及び駐 車場等管理運営費に統合し、本事業 は終了する。
	基盤			・中町自転車等駐車場の管理運営(20年度から)		(1.00人)	(1.00人)	(1.00人)	(0.50人)																			16-112 1 7 °00
	社会基般			民間団体を含む23団体で構成する「鹿児島東西・南北幹線道路建		[概算コスト] 5,516	3,590	3,685	[概算コスト] 3,762	会・幹事会 の開催回数	[目標値] 2	2	[目標値] 2	[目標値]	要望先件数(単位:件)	32	[目標値] 32	[目標値] 32	[目標値] 32									現状のまま継続 (理由)
11	都圳	東西幹線・南 北幹線道路の 整備促進事業	建設局 街路整備課		市単	(内訳) ·決算額 804 ·人件費	(内訳) ·決算額 788 ·人件費	(内訳) ·決算額 883 ·人件費	·予算額 960 ·人件費 302 2,802	(単位:回)	[実績値] 2 〈達成率〉	[実績値] 2 〈達成率〉	[実績値] 2 〈達成率〉			[実績値] 32 〈達成率〉	[実績値] 32 (達成率)	[実績値] 32 〈達成率〉		0 0		0 0	0 0	0 0	© -	-		庭児島東西・南北幹線道路の早期 整備に向けて、国・県へ働きかけることにより、両幹線道路の整備促進を 図る必要がある。
	設基盤			設促進期成会」の総会において活動方針を決定し、国・県への要望 活動等を行う。		4,712 (1.11人)	2,802 (0.66人)				100.0%				±m+=1 = ×	100.0%		100.0%										Talk o + + + + + + +
	社会			〇事業開始年度 昭和56年度 【概要】都市計画道路の整備計画を策定するために、主な幹線道路や都市計画道路における道路交通量調査により、その現状及び経年変化を把握し、都市計画の決定や変更に資する。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】道路交通量調査の結果等を考慮し、道路構造の計画および設計を行い、都市計画の変更に伴う図書作成、関係機関との協議、地元説明会等を実施し、都市計画の決定及び変更を行う。		【概算コスト】 19,219	l	l	1	回数	L日標値」 1	L日標値」 1	L日標値」 	L日標値」 1	都市計画道 路の整備率	L日標値」 79	[目標値] 80	[目標値] 81	L日標値」 82	82						1		現状のまま継続
12	基盤・都	都市計画道路 周査事業	建設局		市	(内訳) ·決算額 10,135	(内訳) ·決算額 9,495	(内訳) ·決算額	(内訳) ·予算額	(年位.四/	[実績値]	[実績値] 1	[実績値] 1	1	(単位:%)	[実績値] 79	[実績値]	[実績値] 81				0 0) (0)	0 0	© -	- A		(理由) 幹線道路網の計画的な整備を図る ため、調査及び関係機関との協議を 継続して実施する必要がある。
	市施設基盤	,,,,,			·	·人件費 9,084 (2.14人)	·人件費 8,490 (2.00人)	・人件費 8,490	·人件費 8,490		〈達成率〉 100.0%	〈達成率〉 100.0%	〈達成率〉 100.0%			〈達成率〉 100.0%	〈達成率〉 100.0%	〈達成率〉 100.0%										
	社			○事業開始年度 平成10年度			l	I	[概算コスト]	駐車場マップの配を部	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	既存駐車場の利用促進	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]			+	$\dagger \dagger$	\top	+ +	+		縮小
10	会基盤・都	主車場整備計	建設局	【概要】本市の駐車特性を踏まえた総合的な駐車対策及び計画的な駐車施設の整備促進を図るため、法に基づき策定した「鹿児島市駐車場整備計画」に基づき、施策を実施している。なお、法の改正により、自動二輪車が対象となったため、今後、実態調査を行	市当	3,863 (内訳) ·決算額	(内訳) ·決算額	(内訳) ·決算額	(内訳) ·予算額	プの配布部数 (単位:部)	10,000 [実績値] 7,880	7,500 [実績値] 5,111	5,000 [実績値] 4,029	5,000	の利用促進	[実績値]	[実績値]	[実績値]		00		0 0		0 0		- - A		(理由) 駐車場マップの利用状況が不明確 なことや駐車場の設置状況も変化が 大きいことから、駐車場マップの作成
	市施設基盤	画事業		止により、目期一輪車が対象どなったたの、今後、美態調査を行い、必要に応じて計画の見直しを検討する。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】施策の一つとして、中心市街地で駐車場の利用が一部に集中する傾向があるため、駐車場マップを作成・配置する等して、既存駐車場の利用を促進し、駐車需要の分散化や入庫 待ちによる路上駐車の減少等を促し、交通の円滑化を図る。	甲	0 ・人件費 3,863 (0.91人)	1,512 •人件費 1,401 (0.33人)	63 •人件費 1,401 (0.33人)	·人件費 1,401		〈達成率〉 78.8%	〈達成率〉 68.1%	〈達成率〉 80.6%			〈達成率〉	〈達成率〉	〈達成率〉										は終了するべきである。
	社会			〇事業開始年度 昭和63年度			l	l	[概算コスト]	域内幹線道 路整備換算	[目標値]	[目標値]	[目標値]		域内幹線道 路整備換算		[目標値]	[目標値]	[目標値]									現状のまま継続
14	会基盤・都市施設	5路事業	建設局 街路整備課	【概要】国・県道等を結ぶ幹線道路や周辺団地から市街地中心部へのアクセス機能を有する地域幹線道路を整備するため、街路事業による整備を行う。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】街路事業として都市計画道路の事業認可手続き、用地取得、工事等を行う。高麗通線、武武岡線など。	国補助	3,196,255 (内訳) ・決算額 3,166,540 ・人件費 29,715	(内訳) •決算額 2,743,382 •人件費	(内訳) ·決算額 2,232,873 ·人件費	(内訳) ·予算額 1,742,360 ·人件費	邱昰姗快笄 延長 (単位:m)	313 [実績値] 313 〈達成率〉	[実績値] 312 〈達成率〉	254 [実績値] 254 〈達成率〉 100.0%	247	累計延長	3,420 [実績値] 3,420 〈達成率〉 100.0%	[実績値] 3,732 〈達成率〉	3,986 [実績値] 3,986 〈達成率〉 100.0%	4,233		0 0	0 0	0 0	© -	© -	- A	A	(理由) 交通の円滑化を図るため、国・県道等を結ぶ幹線道路や周辺団地から市街地中心部へのアクセス機能を有する地域幹線道路を整備することは必要である。
	基盤					29,715 (7.00人)	29,715 (7.00人)				100.0%	100.0%	100.0%			100.0%	100.0%	100.0%										

行政評価(継続事業)

第4編第2章 総合交通ネットワークを構築する

	까 그 아들 가		60 人吧·	トットソーンで情栄する																I.+ b-					11.14	_		
							概算コスト(単位:十円)			-	主な活動指標 「	ŧ				主な成果指標 	ŧ		達成店 指 指	妥当	1 事	効率性	E 有	可効性 □	公平性	_	
No.	事業事務事	事業名	事業実施課	事業概要	財源	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	標の達成	業の必要性	の業	業の統合	スト	D l	有負担の	次評価結果	評価理由
				○事業開始年度 平成18年度		[概算コスト]	[概算コスト]		1	軌道改良工 事完了区間	[目標値]		I	[目標値]	市電の走行 環境の改善	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]									現状のまま継続
15	施設維持・管理	莱	交通局 電車事業課	【概要】軌道の安全性を確保するとともに低振動・低騒音による乗り心地等の快適性向上を図るため、軌道改良工事を行う。 【対象者】市電利用者 【具体的な活動内容】 18-19年度・・・谷山〜上塩屋間 600m完了 20年度・・・笹貫〜上塩屋 300m 21年度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(内訳) ·決算額 ·人件費	(内訳) ・決算額 60,522 ・人件費 467 (0.11人)	57,013 (内訳) •決算額 56,534 •人件費 479 (0.11人)	(内訳) ·予算額 ·65,943 ·人件費 472	事光」应问 (単位∶m)	[実績値]	300 [実績値] 300 〈達成率〉 100.0%	300 [実績値] 300 〈達成率〉 100.0%	300	深境の以合	[実績値]	[実績値]	[実績値]		0 0) 0	0 0	0	© ©	0	-	A A	(理由) 利用者の安全性と快適性の向上を 図るため、軌道改良工事は必要であ る。
-				○事業開始年度 平成18年度		「概算コスト	[概算コスト]	「概算コスト	「概算コスト」	停留所上屋	「日標値〕	「日標値〕	[目標値]	[目標値]	電車利用客	「日標値〕	[目標値]	[目標値]	「日標値〕			+		+	+	+	_	現状のまま継続
	施設維整備事場	ステム 業		【概 要】利用者のサービス向上を図るため、停留場に上屋を設置する。 は対象者】市電利用者 【具体的な活動内容】		(内訳) ・決算額	15,238 (内訳)		8,086 (内訳) •予算額	設置の箇所数 (単位:箇 所)	[実績値]	4 [実績値] 4	4 [実績値] 4	2		[実績値]	[実績値]	[実績値]										(理由) 利用者の利便性向上のため、停留 場の上屋整備は必要である。
16	· 停留場管理	7上/全 1		18年度・・・・高見橋(上・下)、中郡(上・下)の4箇所設置完了 19年度・・・市役所前(上)、朝日通(上)、純心学園前(上・下)の4 箇所設置完了 20年度・・・水族館口(上り)、桜島桟橋通(上り)	会	·人件費 0	15,111 ·人件費 127 (0.03人)	15,606 •人件費 131 (0.03人)	·人件費 86		〈達成率〉	〈達成率〉 100.0%	〈達成率〉 100.0%			〈達成率〉	〈達成率〉	〈達成率〉		0 6		9 0	0	0 0		_	A A	
-				○事業開始年度 平成19年度		「概質コスト]	[概算コスト]	「概質コスト]	「概質コスト]	平成19年度	「日橝値〕	「日橝値〕	「日標値〕	「日橝値〕	平成20年度	「日橝値〕	[目標値]	「目標値〕	「日標値〕			+		-	+	+	_	現状のまま継続
17	施設維市電車	体更新	交通局	【概 要】昭和30年代に導入し、老朽化した600形電車の車体(台車)を年次的に更新し、安全輸送を図る。 【対象者】市電利用者 【具体的な活動内容】	国補	(内訳) ·決算額	(内訳) ·決算額	2,560 (内訳) ·決算額		台車調査	[実績値]	[実績値]	[実績値]		台車更新 (単位:両)	[実績値]	[実績値]	[実績値]	2									(理由) 輸送の安全性の確保のため、老朽 化した車体(台車)を更新することは 必要である。
17	事業 管理	i i	電車事業課	・平成19年度 台車調査・平成20年度 台車更新(2両)	助	·人件費 0	·人件費 0	2,516 •人件費 44 (0.01人)	·人件費 43		〈達成率〉	〈達成率〉	〈達成率〉 100.0%			〈達成率〉	〈達成率〉	〈達成率〉										22 (070)
-				〇事業開始年度 平成17年度	+	[概算コスト]	[概算コスト]	[概算コスト]	[概算コスト]	購入台数	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	総車両数に	[目標值]	[目標値]	[目標値]	[目標値]									現状のまま継続
	市民低公害	低床		【概 要】利用者の利便性の向上を図るため、車両更新時に低公害・低床型車両を導入する。 【対象者】一般市民	围	178,738 (内訳) ・決算額	(内訳)	206,612 (内訳) ·決算額	166,640 (内訳) ・予算額	(単位:台)	5 [実績値] 5	8 [実績値] 8	7 [実績値] 7	5	対する低公害・低床型 バスの占め る割合	25 [実績値] 13	25 [実績値] 17	25 [実績値] 20	25									(理由) 輸送の安全性の確保及び利用者の 利便性向上のため、更新の際に低公
18	型車両業業	導入事		【具体的な活動内容】 パリアフリー基準に適合し、また低公害の低床型パスを年次的に導 3 + * 7	補助	178,526	272,750	206,394	166,425						(単位:%)							0 ©	0		$ \circ $	-	^ ^	害・低床型車両を導入することは必要 である。
	2			入する		・人件費 212 (0.05人)	・人件費 212 (0.05人)	・人件費 218 (0.05人)			〈達成率〉 100.0%	〈達成率〉 100.0%	〈達成率〉 100.0%			〈達成率〉 52.7%	<達成率> 66.0%	〈達成率〉 79.6%										
				〇事業開始年度 平成19年度		[概算コスト]	[概算コスト]	[概算コスト]	I	調査事業の 業務委託件	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	バス運行情 報提供シス	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]									現状のまま継続
19	調 査 バス運 ・ 提供シ		交通局	【概 要】公共交通機関としてのパスの利用促進を図るために、利用者の利便性向上策の一つとして、パス運行情報提供システムの導入検討を進める。 (対象者)パス利用者		(内訳) ·決算額		(内訳)	(内訳) •予算額		[実績値]	[実績値]	· [実績値] 1	,	テム導入の 実現へ向け た方向性の 確定	[実績値]	[実績値]] [実績値]		0 0		0 0	0	0 0	0 0	_	A A	(理由) 利用者ニーズや本市の特性にあった効果的なバス運行情報提供システムの導入に向け必要な事業である。
	研 導入調	登事業 □		[対象者 月 ハネ州日 [具体的な活動内容] 19年度は、バス運行情報に関する提供内容や提供方法などの利用者ニーズ調査を実施し、20年度は、他都市における既存の情報提供システム(バスロケーションシステムなど)の運用状況等の調査・分析及び鹿児島市に適したシステム方法、範囲、事業規模などの検討を行う。	4	·人件費 0	·人件費 0	·人件費 566 (0.13人)	·人件費 859 (0.20人)			〈達成率〉	100.0%				〈達成率〉											
				○事業開始年度 平成18年度		[概算コスト] n	[概算コスト] 7,505			工事発注件 数	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	桜島港フェ リー施設の	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]							T		現状のまま継続
20	施設維持・管	フェリー 備事業	船舶部	【概 要】老朽化した施設の整備を行い、輸送施設の充実を図り、 安全・快適な運航に資する。 【対象者】船舶利用者 【具体的な活動内容】 ・桜島港人道橋補修工事 (平成18~21年度) 桜島港フ動橋補修工事 (平成19~21年度) ・投島港では来等58季下車 (平成19~21年度)	国補助	(内訳)・決算額・人件費	(内訳)	(内訳) ·決算額 36,498 ·人件費	(内訳) ·予算額	(単位:件)	[実績値]	[実績値] 1 〈達成率〉	[実績値] 3 〈達成率〉	•	充実	[実績値]	[実績値]	[実績値]		© ©		0 0	0	0 0	0 0	-	A A	(理由) 安全・快適な運航を確保するため、 老朽化した施設の整備を行い、輸送 施設の充実を図ることは必要である。
	理			· 桜島港油圧装置設置工事(平成19年度) - 桜島港可動橋塗装工事(平成20~21年度) - 桜島港人道橋油圧配管補修(平成20年度)		0	722 (0.17人)	2,393 (0.55人)	1			100.0%	100.0%															